

ヨーロッパ政治 I

科目ナンバリング POL-311

選択 2単位

渡邊 啓貴

1. 授業の概要(ねらい)

今日のヨーロッパ情勢を様々な角度から分析し、その現状の全体像を理解する。そのことは日本外交を考えるうえでも大変示唆に富む知見を与えるはずである。現代のトピックを取り扱うので、学生の側からの質問を期待するとともに、討議ができる授業にしたい。

2. 授業の到達目標

欧州情勢を国家・社会・国民という視角から考え、欧州国際関係の今日的構造について理解できるようにする。

3. 成績評価の方法および基準

試験(70%)・貢献(30%)で評価する

4. 教科書・参考文献

教科書

渡邊啓貴 ヨーロッパ国際関係史 有斐閣

渡邊啓貴 アメリカとヨーロッパ 中央公論新書

5. 準備学修の内容

ヨーロッパ統合の歴史、政治に関する文献を授業の中で指示するので読んでおくこと。

また授業で扱ったトピックの背景となる歴史や関連分野についても自分で学習することが望ましい。

6. その他履修上の注意事項

積極的な発言を期待する。受け身の授業ではないことを望む。

7. 授業内容

- 【第1回】 ヨーロッパとは何か
- 【第2回】 欧州統合とは何か----国境を越えたリストラとデモクラシー
- 【第3回】 西欧先進社会の後退
- 【第4回】 BREXIT イギリスと欧州
- 【第5回】 BREXITの背景と今後
- 【第6回】 イギリス政治――議会政治と政党
- 【第7回】 フランス政治の歴史と制度
- 【第8回】 第五共和制の政治
- 【第9回】 フランス・マクロン政権の現状
- 【第10回】 ドイツ政局と独仏連帯の行く末
- 【第11回】 イタリア極右勢力に揺れる政局
- 【第12回】 欧州の移民・難問問題
- 【第13回】 テロと移民
- 【第14回】 ポピュリズムの台頭
- 【第15回】 まとめと期末試験